

KYOTO HIYOSHI NAKASEKI

中世木

A to Z



## ABOUT

京都府のまんなか南丹市、  
さらにまんなか日吉町中世木は、なかよき村。

夢を持ったおとなたちが、イベントに、  
農作業に、人助けに、  
集い、歌い、踊ります。

デパートも遊園地もないけれど  
あったかい人も楽しいことも  
自然との暮らしもなんでもある。

移住者ウェルカムの雰囲気で、  
若い人が増えつつあります。

移住者も地元の人も、みんなで手を取り合って、  
夢と希望の実現に、  
なかなか忙しい“中世木暮らし”なのです。

## CONTENTS

A	ABENOSADATOU 安部貞任伝説	N	NATTOMOCHI 納豆餅
B	BENIBANAYAMASYAKUYAKU ベニバナヤマシクヤク	O	ONIHKAGE オニヒカゲワラビ
C	COFFEE コーヒー	P	PIZZA PIZZA
D	DANKETSU 団結	Q	QUIET QUIET
E	ENGAWA 縁側	R	RENPUKUSOU レンブクソウ
F	FUMONIN 普門院	S	SETSUBUNSOU せつぶん草
G	GAZENJI 賀善寺	T	TANADA 棚田ひなまつり
H	HOJYOTOKIYORI 北条時頼伝説	U	UNAGI 鰻
I	ITOKAKE 糸掛け石	V	VISION ビジョン委員会
J	JYUNIN 10人の侍	W	WALKING ウォーキング
K	KUROMAME 黒豆	X	X 交流
L	LOVE LOVE	Y	YUME 夢
M	MAKIYAMA 牧山の松明	Z	ZOO ZOO



ABENOSADATOU



BENIBANA  
YAMASYAKUYAKU



COFFEE

安部貞任は、安倍晋三総理のルーツとも言われており、平安時代に岩手県辺りを支配していた豪族です。源義家らに都で処刑され、怨念を断つため、首を貞任峠、下半身を中世木の人尾峠に葬られたと伝えられています。都への道である人尾峠には、お地藏様がまつられています。

### 安部貞任伝説

① 池村嘉浩

京都府の絶滅危惧種で、凜とした美しい花です。濃い赤から薄いピンク系なのでベニバナと呼ばれていますが白花もあり、中世木にあるのは99%白花です。5月末～6月上旬に咲きます。秋、種になった朱と濃青色の実は一見の価値あり。

① 池村嘉浩

### ベニバナヤマシクヤク

中世木の人は吉田辰男さんによる焙煎したてのコーヒーを楽しんでいます。さらに農家でもある辰男さんは、特産品の黒豆をブレンドして、健康にも良い黒豆コーヒーを生み出しました。中世木らしさが満喫できる黒豆コーヒーは、お祭りなどに来た人たちに提供され、喜ばれています。

① 吉田千鶴子

### コーヒー



DANKETSU



ENGAWA



FUMONIN



GAZENJI



HOJYOTOKIYORI



ITOKAKE

中世木の人はそれぞれ個性ですが、何かあるとすぐに集まり力を合わせることができます。お祭りをする時、移住者が引っ越してきた時、雪道でトラックが立ち往生した時等々。リーダーを中心に心を一つにし、最善を尽くします。出身も世代も越え、未来に向けて団結しています。

## 団結

① 谷口洋一

山の緑と清流。そして棚田。中世木は自然豊かな里山です。そんな里山の中に、縁側のある古民家が点在しています。縁側に座って、庭先の草花を愛でていると、どこからか小鳥のさえずりが聞こえてきます。ゆったりとした時の流れに心身をゆだね、癒しを味わうのもいいものですね。

## 縁側

① 八谷啓志

牧山にある普門院は真言宗のお寺で、鎌倉時代に作られましたが、当時のお堂は明智光秀が周山城をつくる時に木材として使われてしまったと言われています。また、火事になったこともあり、不思議な老人がご本尊を背負って峠を越え、隣村のお寺に避難させたという伝説が残っています。

## 普門院

① 浅田徹雄

賀善寺は本堂の丸柱20本それぞれに明智光秀の刻印が残っています。丹波を平定した光秀が築城の際に、賀善寺のケヤキの丸柱も使おうと刻印をしたのですが、短いことが判って本堂の取り壊しをやめたとのこと。これは、御本尊の御霊験によって柱が短くなったと伝えられています。

## 賀善寺

① 浅田徹雄

鎌倉幕府第5代執権北条時頼は、出家後、最明寺入道とも呼ばれ、諸国を歩いたという伝説が全国各地に残っています。中世木牧山の大山祇神社に寄った時、法華経を書写し裏山の土中に埋めたとされています。その山を最明寺山、塚を最明寺の経塚と呼び、今も見ることができます。

## 北条時頼伝説

① 浅田徹雄

中世木の山で見られる石。砂岩に石英が入り、糸を掛けたように見える鉱物。古くは『加茂七石(かものないし)』として、貴族や武家の庭石として愛されてきました。京都市の静原川(賤機産)が有名。中世木の貴重な山野草を育む地質の一つです。中世木公民館に展示中!

## 糸掛け石

① 前田一輝



JYUNIN



KUROMAME



LOVE



MAKIYAMA



NATTOMOCHI



ONHIKAGE

三人寄れば文殊の知恵、その三倍以上も寄れば、はるかに知恵とパワーが出るのです。地域の核となり、活性化のお役にたてることを理念とし、とにかく仲良くスパイラルに進化向上することを目指して、まずは新丹波黒大豆の生産と販売から動き出しました。集まれ侍、ここに有り!!

## 10人の侍

住民有志により休耕田で黒豆を栽培することになりました。当初は栽培に対する知識や経験、ノウハウも無く、本当に出来るか不安でしたが、やってみれば案外上手くでき、チャレンジ有るのみを確信しました。自分たちが育てた黒豆を食べられることはこの上ない幸せです。

## 黒豆

愛にも色々ありますが、愛郷心は尊いものです。愛郷心が無ければ地域の活性化はありません。中世木の人々は「誇りと絆」の文字を背負い、祭りに日役にと、村のため働きます。皆で同じ苦労や喜びを味わうことで、愛郷心はさらに育っていきます。そんな村だからこそますます人が集まってくるのです。

## LOVE

毎年、8月24日の夜に愛宕山信仰に基づき牧山地区の普門院で「牧山の松明」が行われます。高さ約4mの松明3本を扇形に組み、日没とともに点火します。大松明が勢いよく燃え上がり夜空を焦がすさまは、壮観です。牧山地区はもちろん、集落全体で協力して伝統を守っています。

## 牧山の松明

正月の3ヶ日祝い餅や雑煮の代わりに食されています。納豆は塩味のみで味付けされ美味しいお米の産地ならではの保存食として伝承されています。昔は林業が盛んで山仕事の人たちは小さ目の納豆餅を腹巻に挟み、山であぶり弁当代わりに食べていたとの事です。

## 納豆餅

オニヒカゲワラビは、4月中旬から5月中旬に谷筋の河原で多く見かけられ、鹿に食べられないのが利点。2~5mmほどの黒い斑点が茎を覆っています。ワラビよりも歯ごたえが良く高級料亭の春の逸品といった感じで、茹でるだけであく抜き不要! 天ぷら、サラダ等がおすすめ。

## オニヒカゲワラビ



PIZZA



QUIET



RENPUKUSOU



SETSUBUNSOU



TANADA



UNAGI

地域の活性化には、グルメは欠かせません。この中世木の里山で特産品である丹波黒大豆をふんだんに使った「黒豆ピザ」は、イベントや交流の時に作られ、このピザで笑顔が生まれることは住民の何よりの喜びです。誇れるグルメ「黒豆ピザ」は地元の食材たちで輝いています。

## PIZZA

Y 吉田辰男

中世木はおとぎ話のようなのどかな風景の広がる静かな集落です。特に夜は、遠くで鳴く鹿の声も聞こえるほど。年に2回、棚田ひな祭りとせつぶん草祭りの日だけはたくさんの人が訪れ、にぎわいます。普段はあまり人を見ない集落も、この日ばかりは住民総出でもてなしをします。

## QUIET

M 前田敦子

山地に生える多年草で、茎の高さは10cm位、地下茎で増えます。茎の先に直径5mm程の黄緑色の花が5個集まって付いていることからゴリンバナ(五輪花)とも呼ばれています。葉の色も黄緑色で目立たない花ですが、年々少なくなり、大変貴重な花となっています。4月中旬に咲きます。

## レンプクソウ

F 福山明子

旧暦の節分頃に咲くので「せつぶん草」。春を告げる直径1cm程の花。中世木に咲く花は、雌しべ雄しべ辺りが白く、他の地域には無い、白い花。愛好家は「素心花」と呼びます。6月頃に実を付けて枯れ、はかない一生を終えるので「春の妖精」の一つ。種から3~4年経て花が咲きます。

## せつぶん草

I 池村嘉浩

棚田を雛段にしてお雛様パネルを飾る祭り、「棚田ひなまつり」は2011年に、多くの住民全員が参画して「子どもたちの声をきこう」「住民同士交流しよう」とはじまりました。毎年秋にはお雛様が1つつ増えます。五穀豊穡・先祖に感謝・移住定住者を笑顔で歓迎しているお雛様です。

## 棚田ひなまつり

Y 吉田辰男

鰻上りとは、鰻のようにグングン登っていく事を言います。一旦川を下っていく鰻もいますが、それも大きくなってまた登ってくる準備です。人の流れも同じ。人口減少の中世木に、皆で鰻のように、Iターン、Uターンを真剣に呼び込んでみようではありませんか。写真は中世木に登ってきた鰻です。

## 鰻

T 谷口洋一



## INFORMATION

### 中世木花カレンダー

中世木で見ることが  
できる花の開花時期を  
紹介します。

中世木は山菜・山野草の  
宝庫ですが、鹿害等に  
よる環境の変化が原因で  
減少傾向のため、地域  
の人で大切に守って  
います。採集はでき  
ませんのでそっと見守  
ってください。

3月 セツブンソウ

4月 レンブクソウ

5月 ホタルカズラ

6月 ベニバナ  
ヤマシャクヤク

7月 イワタバコ

9月 センブリ

2016年秋、中世木の未来を鑑みて中世木ビジョン委員会が発足されました。地域の良いもの・良いところ探しから始まり、話し合いを重ねてきました。ビジョンのある地域は、夢や希望や目標があります。自然の愛に生かされながら、人と人が集い、未来のビジョンを作り上げていきます。

## ビジョン委員会

中世木は、四季折々に趣があります。冬は雪景色、春は山菜に山野草。夏は森の木陰で森林浴。秋は黄金色の稲穂に紅葉。このように一年を通して散策するには素晴らしい里山です。風光明媚な風景の中を、童謡の「ふるさと」を口ずさみながら歩いてみませんか。

## ウォーキング

中世木にはさまざまなX(交流)があります。ほどよい近所づきあいから、集落独自のイベントなど濃いもので。隣の集落との交流も盛んで、中世木(なかよき)村と自称する住民もいるくらい。イベントには遠方からのゲストもあり、その交流の輪は広がる一方。動物や虫との交流も盛ん。

## 交流

夢いっぱいの中世木。子ども達が夢を持つのはごくフツーですが、中世木では大人達も夢を持っています。大人達が夢を語ることができる場所があるからです。今、中世木では子どもも、大人も一緒になって、「あんな村にしたい」「こんな村にしたい」という夢に向かって歩みははじめました。

## 夢

動物園はないけれど、中世木は動物たちの宝庫。ツキノワグマ、キツネ、タヌキ、ウサギ、イタチなど。可愛いけれど、シカやサルは農業の天敵。二階のつるし柿を取りに来たサルに石を投げたら、上から瓦を投げ返してきたという嘘のような本当の話も。みんな中世木動物園の住人です。

## ZOO

◎ 太田彩美

Ⓜ 八谷啓志

Ⓜ 堀田暢

Ⓜ 堀田暢

Ⓜ 前田敦子



子どもが増えた!「子どもたちの声を聞こう!外の風に当たろう!」をコンセプトに立ち上げた祭りのおかげで、この村に住みたいと大阪から移住した家に2人目の子供が生まれました。大変うれしいうれしい大きな出来事です。限界集落から“元快集楽”(元気で快く集まって楽しい集落)へ!



昔からの文化が今も中世木に残っているのは、物知りの先輩方のおかげです。昔ながらの料理が上手な加工グループの女性たちの技や、お正月のしめ飾りを作る近藤武雄さんの技は、今後も受け継いでいきたい中世木の文化遺産です。



中世木の山には昔の峠道がたくさん残っています。登ると日吉ダム为天若湖が一望できるところも。龍の形をした天若湖を中心に、世木地域一帯で「むら型アウトドアリゾート 龍の森プロジェクト」が始まっています。これからますますおもしろい中世木です。



中世木集落の入り口に立っているパネルは、棚田ひなまつりに合わせ、集落に来る人を歓迎するために作られました。協力してくれた大学生の絵や、地元の人々の絵があります。来るたびに少しずつ変化しているという噂も!

## MAP



## ACCESS



電車で

JR京都駅から山陰本線(嵯峨野線)で約60分  
JR大阪駅から約1時間30分  
最寄駅/日吉駅



車で

京都市方面から京都縦貫自動車道(園部IC)で約60分  
国道162号(京北方面)で約60分  
国道372号で約1時間40分  
最寄IC/園部IC



## 中世木AtoZ

発行日 2017年6月1日

メンバー 池村嘉浩  
梶本泰広  
千馬好子  
千馬正資  
谷口成美  
谷口洋一  
八谷啓志  
福山明子  
堀田暢  
堀田実衣  
前田一輝  
松本司  
湯浅誠  
湯浅由美子  
吉田貴子  
吉田辰男  
吉田千鶴子  
浅田徹雄(集落支援員)  
太田彩美(南丹市地域おこし協力隊)  
前田敦子(南丹市地域おこし協力隊)

文字制作 松井もあ  
松井虎徹  
松井ちあ

発行 中世木区ビジョン委員会  
代表 吉田辰男  
京都府南丹市日吉町中世木赤部8  
tel 090-3356-2928

協力 塩見直紀  
(半農半X研究所、福知山公立大学、総務省地域力創造アドバイザー)

販売価格 100円

